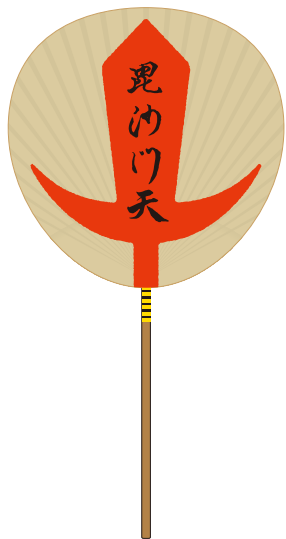


二〇二二 寅年 限定团扇

荒町毘沙門様

# 御開帳記念



幕末に誕生した荒町の名物团扇。  
今年は十二年に一度の毘沙門様のご開帳を  
記念した回文团扇を作りました。  
良縁・子育て・商売繁盛のお守りとして、  
ご開帳の記念品としてぜひご活用ください。

◎良縁 ◎子育て ◎商売繁盛

仙臺荒町名物



Kaibun Uchiwa  
Japanese Traditional Fan  
Noted Palindrome  
From Aramachi, Sendai



## 回文团扇について

荒町は、かつて藩祖伊達政宗公の仙台開府以来、御譜代町のひとつとされ、藩政期には麴の製造が特別に許可された町でした。麴が作れない夏場に内職の团扇作りが盛んに行われており、柿洪を塗った「洪团扇」は一般家庭の日用品として重宝されていました。この团扇に絵と回文（上から読んでも下から読んでも同じ文になる言葉遊び）をつけて人々を楽しませたのが、幕末の回文師「仙代庵（細屋勘左工門）」です。仙代庵は、自筆の回文と似合いの絵を入れた洪团扇を売り出したところたちまち評判となったそうです。「回文团扇」は、そんな荒町の歴史と魅力を伝える古くて新しい荒町名物です。

## 今回の回文について

「**鏡先て我慢天魔が出来ざりや**」

仙代庵は七福神の名前を使った回文も残しており、この回文は毘沙門天について書かれたものです。大酒飲みだった仙代庵がある日、荒町の毘沙門天へ禁酒の誓いを立てた額面（裏には「鍵と錠」の文字）を献納したものの、なかなか酒を止めないので町の人々が仙代庵を責めると「おれの願誓いは開けるときと閉る時とある」と言い返したユニークなエピソードも残っています。

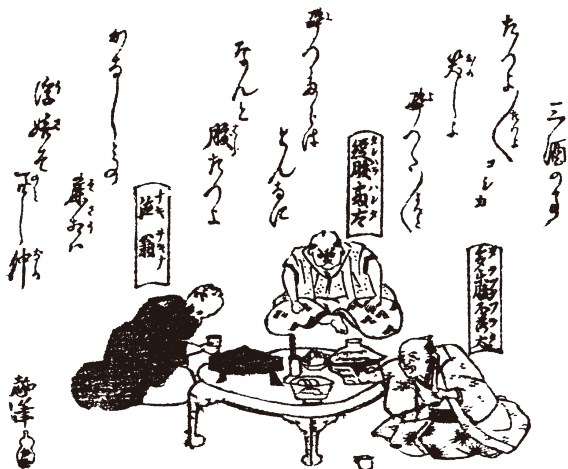


【企画】  
仙台市荒町商店街振興組合  
<https://www.aramachi.info/>



【協力】  
仙台市荒町児童館  
東海林恒英（著書「仙代庵」）  
デザイン：阿部拓也  
筆文字：雅（書家）

【製造】  
栗川商店  
熊本県山鹿市鹿本町来民1648-1



仙代庵が团扇に描いた回文と挿絵